

平成26年10月21日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学
公益財団法人 マツダ財団

マツダ研究助成贈呈式開催のお知らせ

奈良先端科学技術大学院大学（奈良先端大、学長：小笠原直毅）物質創成科学研究科光情報分子科学研究室研究室中嶋琢也准教授及び情報科学研究科コンピューティング・アーキテクチャ研究室高前田伸也助教が、公益財団法人マツダ財団（理事長：金井誠太）から研究助成を受けることとなり、このたび、マツダ財団事務局長のご出席のもと、下記のとおり贈呈式を開催いたします。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ではございますが、マツダ研究助成贈呈式をご取材いただきますようご案内申し上げます。

なお、当日、取材にお越しいただく場合には、ご面倒ですが、事前に下記のお問合せ先まで、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 平成26年10月24日（金） 11:00～11:30

【集 合 場 所】 奈良先端科学技術大学院大学 附属図書館3階 マルチメディアホール
（生駒市高山町 8916-5、けいはんな学研都市）
※贈呈式は事務局棟3階にて実施を予定しております。
※取材希望の方は、10:50までに集合願います。

【助成対象研究概要等】 別紙のとおり

【式 次 第】

- ・採択者へ贈呈書の贈呈
- ・マツダ財団事務局長ごあいさつ
- ・高前田助教、中嶋准教授あいさつ
- ・写真撮影
- ・会談

【本件に関する問合せ先】

奈良先端科学技術大学院大学 教育研究支援部 企画総務課 広報渉外係
TEL : 0743-72-5026, E-mail : s-kikaku@ad.naist.jp

1. 中嶋 琢也

【助成対象研究題目】

分子配線を指向した光応答性自己集積材料の開発

【研究概要】

新原理に基づく光活性種生成反応の開発により、フォトレジストなどの光プロセスの根幹をなす光化学反応の効率化、さらに、次世代の分子配線技術への展開を目指す。光化学的に明瞭なメカニズム、高い反応効率を有し、単一の光生成物を与える6 π 電子環状反応に着目し、その後続反応として酸発生反応を設計する。既存のシステムに搭載可能な光酸発生剤の開発に加え、光酸発生により分子の集積能が誘起される光応答型自己集積材料の提案を通じて、光による分子操作技術の発展に貢献する。

【助成金額】

120 万円

2. 高前田 伸也

【助成対象研究題目】

FPGA アクセラレータの性能と開発容易性を両立するマルチパラダイム設計フレームワーク

【研究概要】

近年の計算機システムでは、回路構成の変更可能な柔らかいLSIであるFPGAによるアクセラレータが用いられるようになってきた。本研究では、演算回路部分を細粒度に記述するHDLをベースとしたパイプライン記述言語と、システム全体の粗粒度のデータの流れを記述する制御記述言語の2つを併せ持つ、マルチパラダイムなFPGAアクセラレータ設計フレームワークを開発する。2つの言語パラダイムを要件に応じて使い分けることにより、FPGAアクセラレータ性能と開発コストの低減を両立する。

【助成金額】

120 万円